

## 令和5年度 中部地区子ども支援net 事後アンケート

令和5年11月10日（金）

奄美市役所 5階大会議室

参加者： 56 名

回答者数： 39 / 51 名 （講師、事務局除く）

回答率： 76%

### 1. 本日の子ども支援netについて、ご意見、ご感想等をお聞かせください。

#### ①. ミニ研修について「問題行動の理解」

- ・成功体験をたくさん積むことで、その子らしいそだちを支えていくことの大切さを再認識できた。
- ・子どもの行動の意味を理解するには、周りの大人の適切な対応が大切だと感じた。（「安心・安全」な基地づくり、「できる」「わかる」体験を大切に。）
- ・子どもは環境を選べない。大人の丁寧な支援が大切であるということ学ぶ時間となった。
- ・「足し算の支援」を考える時間を持つことができた。今後の支援で心がけようと思う。（2）
- ・「強み」と「苦手」は背中合わせであり、苦手から始めるのではなく、よくできているところから「足し算」で支援していくなど、たくさん学びになった。
- ・「着替えを小さなステップに分ける」「失敗経験を減らす関わり」など、出来る環境からハードルを下げて、スモールステップで支援する事の大切さを改めて確認することができた。（2）
- ・とても分かりやすい研修内容だった。特に「注目にはパワーがある」という話は、肯定的な注目で子どもの自己肯定感が育つという事を学ぶことができた。良い行動は見逃しがちだが、今後は注目していきたいと思えた。（2）
- ・「行動の背景を考える」「大人からの注目が与える影響」「誰のための問題」など多くの事を学ぶことができてうれしかった。事業所のスタッフとも共有していきたい。
- ・支援側の具体的な関りや視点について理解を深める機会となった。
- ・子どもの困り感に関する見方など、対応を早い段階で行っていきたく感じた。
- ・一つの視点だけでなく、様々な視点で柔軟に子どもを観察すること必要だと感じる事ができた。
- ・「問題行動」のどこに注目すべきか、どう対応すべきかなど、分かりやすかった。
- ・問題行動への対応が分かりやすく大変良かった。
- ・本人のことを理解して支援していくことの重要性について、分かりやすく話していただけて感謝している。（本人が、苦手感や困り感を周囲に伝えられないことで、理解されず、不適切な行動を行ってしまうという事などについて）
- ・先生の声はとても聞きやすく、スライドも分かりやすく参考になった。事例もセットだとありがたい。（もっと話を聞きたかった）
- ・とても分かりやすかった。話し方もスムーズで聞きやすかった。
- ・専門職でなくても理解しやすいような研修だった。（他の人にも聞いてもらいたいと思った。）
- ・オンライン研修だったが、話し方が分かりやすかった。もっと事例等を聞きたかった。
- ・分かりやすく、参考になった。（3）
- ・関わり方、考え方など教えていただき、勉強になった。理論的な事がわかった（3）
- ・改めて日々の子ども達との関わりの中で、まだまだやれることがあると思うことができる内容だった。
- ・内容は具体的で、例も挙げられていて、大変分かりやすかった。（4）
- ・自分の中でモヤモヤしていたものが、具体的にまとめられていて、深い理解につなげることができた。
- ・理解できる場所もたくさんあり、自身の振り返りにもなった。
- ・とても参考になった。子どもたちをしっかりと観察し、それぞれの困り感に寄り添っていきたい。
- ・子ども達一人一人に寄り添って、困り感に目を向け、出来ないことを補う支援が大切だということ改めて感じる事ができた。

- ・「特性＝その子らしさ」苦手をなくすのではなく、困る場面を減らしていくことが大切で、そのために子どもや保護者と一緒に考えていくことが大切だと感じた。
- ・臨床場面としても、子を持つ親としても大変参考になった。
- ・参加者から研修でどのようなことについて話していただきたいか事前アンケートを取って講師に伝えておくと、ニーズに応じたものになると思った。（事前アンケートに記入できるようにするなど）

## ②.グループワークについて

### 「奄美中部地区で困り感のある子どもや、その家族を支える人たちの連携について」

#### 【保護者との連携/支援について】

- ・保護者とのコミュニケーションが大切だと感じた（保護者に問題がある場合も多い）
- ・保護者対応と、不登校の困り感は共感できた。
- ・具体的な面談の際の声かけなど、参考になる意見も聞くことができた。今後に生かしていきたい。
- ・保護者への伝え方に難しさを感じて悩んでいるのはどの機関も同じなのだと感じる事ができた。

#### 【多職種連携について】

- ・いろんな職種の方と意見交換、現場での工夫や困り感、課題などを共有、多職種の交流をすることができて有意義な時間だった。（8）
- ・他の職種の方たちが、具体的に「どのような取り組みをしているのか」「どのような困り感を感じているのか」など聞くことができたことで、自分たちがすべきことについても考える機会になった。
- ・多職種で意見交換を行ったことで、それぞれの感じている課題が分かり、お互いが共通した課題があることも分かった。地域課題を見つけることにもつながったように思う。（3）
- ・何年この仕事をしていても、初めて知ることもあり、連携の大切さを改めて感じる事ができた。
- ・今後の連携が取りやすくなると思った。
- ・幼児期から学童期まで、様々な立場での困り感を共有する事ができた。
- ・様々な職種の連携やつながりの重要性を強く感じた。
- ・他の地域の方とも話ができて良かった。

#### 【GW全体の雰囲気について】

- ・いろんな職種の方が思っている問題を共有、意見交換することができ勉強になった。（7）
- ・それぞれの事業所の情報を聞くことができて感謝している。
- ・いろんな立場の意見を聞くことができておもしろいと感じた。
- ・他のグループの発表も、とても参考になった。
- ・保護者への伝え方、理解をしてもらい難しさはあるが、各機関と連携し、子どもや家族を支えるようにしていきたい。
- ・とても活発な意見を聞くことができた。初めて参加したが、貴重な機会となった。

#### 【その他（GW全体を通して感じたこと）】

- ・「不登校」についてたくさんの意見が出された。こんなにも問題になっているとは知らなかった。
- ・多くの職種の方が参加し、地域（奄美中部地区）として、「顔の見えるネットワークづくり」ができたと思う。
- ・とても良い話し合いができた。良い話し合いというより、たくさん勉強になり、参考になる話が多く、自分にとっては研修になった。（2）
- ・ファシリテーターが初めてで上手く進められなかったが、他職種の方々の困りごとについてみんなで話し合いができて良かった。
- ・参加者は職種、年齢共に様々だったが、専門職の参加もあり、お互いに実になる、得ることの多い時間だった。
- ・多くの職種の方々と触れ合う機会となりありがたかった。
- ・いつも会議で「難しいよね」という言葉がでてくるが、この「難しい」をひとつずつ解決、改善できるように、自分たちも働きかけていきたいと感じた。

- ・ いろんな職種の方々との「意見交換」「視点の共有」「たてとよこのつながり」などの大切さを改めて知る機会となった。(4)
- ・ 具体的な課題の共有や支援のヒントを得ることができ、勉強になった。また参加したい。(2)
- ・ 本人や保護者への支援について、具体的で様々なアドバイスをもらうことができた。
- ・ 各機関からの困りごとがたくさんあって、時間が足りずに終わってしまった。

### ③.運営等(案内、開催日時、進行 他)について

- ・ 時間的にもちょうど良かった。(7)
- ・ あと少し(30分)くらい時間が欲しいくらいだった。
- ・ 具体的な準備や手立てを示してもらえたので、実りある時間が過ごせた。
- ・ 今回、幼稚園、保育園の方もたくさん参加していてうれしかった。
- ・ 案内があり、すぐ参加しようと思った。(日時、進行等良かった)
- ・ 駐車場が少なかった。
- ・ 土曜日の開催だと参加しやすい

## 2.「困り感のある子どもへの支援」に関する課題や知りたい情報について

### ①.あなたが感じている、地域の課題等がありますか。

- ・ 早期介入の難しさ(保護者、祖父母世代、本人への伝え方、保護者理解の難しさ)
- ・ 家族支援など困り感をどうつなげていくか。(困り感のある児童やその家族の多さ)
- ・ 学校と家庭の問題意識のずれ。学校で困り感を感じている子どもに対して、家庭では認識できていない場合がある。(2)
- ・ 学校側がもっと情報知る必要があると感じる。
- ・ 民生委員の質の向上(支援をしてほしい民生委員が相談できない現状がある)
- ・ スクールカウンセラーの活用が十分でないと感じる。週1回程度各学校に常駐出来るくらいの配置が必要だと感じる。(心理士などの専門職の不足)
- ・ 関係機関での課題等の共有化
- ・ 不登校などの相談先が少ない。
- ・ 小学校低学年のグレーゾーンの子どもへ対応する機関が少なく感じる。
- ・ 障がいや療育、特別支援学級などに対する偏見(3)
- ・ 通常の学級における困り感のある子どもが増えている事。
- ・ 受け入れ先(保育園、幼稚園、学校)の対応
- ・ 多職種連携について難しさを感じている。各機関でたてとよこのつながりが出来つつあるがもう少し広がってほしい。
- ・ 担当者会の際に、声掛けする事業所を確認できるマニュアルの作成(呼び忘れがないように)
- ・ つながる支援体制について、もっと深く考えていくことが大切。
- ・ 事業所の移管に伴う混乱

### ②.今後開催してほしい、研修や知りたい情報などがありますか。

- ・ 困り感のある親子への支援のロールプレイ
- ・ 各ステージごとのサポート体制に関する研修
- ・ 保護者向けの研修会や支援者向けの研修会の周知。(子ども支援netはとても良い)
- ・ 支援者を対象とした研修
- ・ 年長の保護者への就学支援に関する講話。
- ・ 「早期支援の大切さ」などに関する保護者向けの講演(2)
- ・ 保護者へ子どもの困り感を伝える際の配慮や伝え方に関する研修
- ・ 他の機関との意見交換やつなげ方に関する研修
- ・ 子どもから大人になっていく中で、支援者がスムーズにバトンタッチできる仕組み

- ・ 困り感のある子どもの家族、保護者に限定せず、地域全体の方に聞いてもらえる、みんなで支援の必要性について学ぶことができる、知ることができる講演会
- ・ 今回のような研修の回数を増やしてほしい。
- ・ 高校では、どのような関りをしてくれるのか知ることができる機会
- ・ 中学生の進学や高校生の就職なども課題だと感じている。

### 3.その他（ご意見、ご感想など自由にお書きください。）

- ・ 「顔の見えるネットワークづくり」に近づくことができたように思う。参加できて良かった。
- ・ 知らない職名や機関名があり、色々なことを学ぶ機会になった。また次回も参加したい。（2）
- ・ 初めて参加したが、有意義な時間になった。
- ・ 他業種の困り感の共有や、お互いの意見を聞くことができ、とても良い研修だった。
- ・ 関係者は知識があるので、外部機関とつながりやすいと思う。知識があっても受容するまでに時間がかかるので、10年後にはもっと療育等について理解が広がっているとよいと願っている。
- ・ 充実した話し合いができたと思う。
- ・ 大変勉強になった。
- ・ 行政の立場から困り感のある子どもやその保護者、支援者に還元されるにはどうしたらよいか考えていきたい。

#### 【アンケート回答者の属性】

##### 職 種

- |  |     |                                      |     |
|--|-----|--------------------------------------|-----|
| <input type="checkbox"/> 教育機関（小、中、高、他） | 8 名 | <input type="checkbox"/> 幼稚園、保育園     | 6 名 |
| <input type="checkbox"/> 療育機関（児発、放デイ等） | 9 名 | <input type="checkbox"/> 行政機関（市町村、県） | 7 名 |
| <input type="checkbox"/> 相談支援等         | 3 名 | <input type="checkbox"/> 未回答         | 3 名 |
| <input type="checkbox"/> 医療機関          | 3 名 |                                      |     |

##### 職 名

保育士（2）、幼稚園教諭（1）、児発管（5）、児童指導員（1）、相談支援専門員（3）、教諭（4）、養護教諭（1）、保育所所長（2）、言語聴覚士（1）、臨床心理士（1）、精神保健福祉士（2）、行政職員/保健師（4）、SSW（3）、未回答（11）

##### 経験年数

- |                                |      |                               |     |                               |     |
|--------------------------------|------|-------------------------------|-----|-------------------------------|-----|
| <input type="checkbox"/> 1～3年  | 12 名 | <input type="checkbox"/> 4～6年 | 5 名 | <input type="checkbox"/> 7～9年 | 3 名 |
| <input type="checkbox"/> 10年以上 | 14 名 | <input type="checkbox"/> 未回答  | 5 名 |                               |     |